

① 手先を使ったトレーニング

日常生活において、自分でできることを増やし、身辺自立につなげます。

<トレーニング内容(例)>

- ・ 手を使っての活動（小麦粉ねんどなど）
- ・ 指先を使う活動（ビーズの紐とおし、ボタンはめ）



② 感覚統合（からだを上手につかうための土台づくり）

道具の使い方や、自分の体の感覚を知るために必要なトレーニングです。視覚、触覚等のさまざまな感覚刺激を経験することで、たくさんの感覚情報を整理できる土台づくりをします。力の入れ方、バランスのとり方、動体視力の向上、手と目の協調運動などの体得を目指します。

<トレーニング内容(例)>

- ・ サーキット（綱渡り、マット、ジャンプなど）
- ・ ボランスボール、壁キックボーリング

③ コミュニケーション（ソーシャルスキルトレーニング）

自分の気持ちを人に伝える力、相手の話を聴く力を身につけ、人と関わる楽しさを感じます。また、遊びを通してルールを理解し、集団で行動する力を身につけます。

<トレーニング内容(例)>

- ・ インタビューゲーム
- ・ 相手とペースを合わせる練習をするゲーム
- ・ 『どうぞ』『ありがとう』のやりとり

④ 就学前練習（幼稚園・保育園、小学校準備）

就学までに必要な基礎能力を身につけ、学校に不安なく通えるようになることを目指します。また、友達との遊びでも負けても楽しめる経験などを積み、集団で過ごせる能力を身につけます。

<トレーニング内容(例)>

- ・ 時間割の合わせ方
- ・ ちょうちょ結び
- ・ 板書に向けたビジョン・トレーニング（目の動かし方）